

田尻だより

平成 21 年

4月号

Vol. 73

田尻便りもいよいよ7年目に入りました。ご支援ご愛顧に心より感謝申し上げます。

花冷えの候 寒の戻り

りと花粉症で、体調を崩しがちなこの頃です。

今年の作付けも始まり、

水浸けされた種もみが

静かに眠りから覚め始

めていきます。

桜花が咲きほころぶ

4月上旬から、各農家

で種まきが始まります。

慌しくも充実したお米

作りの始まりです。

3月26日から、実家の弟の結婚式のため、和歌山へ帰りました。



9つも年下の弟もはや23歳。弟の船出は、頼もしくもあり、何となく淋しくもあり。

「グリーンライフ」

4月から、地元田尻

さくら高校の講師をす

ることになりました。

教科はグリーンライフ。

週に2時限の授業を受

け持ち、年間を通して

若者達と共に学びます。

グリーンライフは和

製英語で、農的生活と

も言われます。いわゆ

る農業そのものではな

く、生活に「自然」を

取り込む暮らしのこと。

農村余暇やアウトドア

体験なども含まれます。

都市生活

アーバンライフから

グリーンライフへ。社

会的機運が高まる一方

で、取り残されている

のが農村の子供達です。

子供達が田舎に魅力を

感じるには、まだまだ

工夫と努力が必要です。

この授業がその手始

めとなればと思います。

偏見なく、純粹に自然

に親しみ、地域の再発

見につながるれば…。

農業後継者の育成の、

第一歩になれるのでは

ないかと思うのです。

帰りのフェリーでは、ほからずもウミガメの放流に立ち合う事ができました。



名古屋水族館とハワイのNOAA(米海洋大気局)によるウミガメの共同回遊経路調査。まさに「船出」の数日間でした。

未 暦 ~こめごよみ~

3月1日 塩水選をしました
温湯処理しました

3月1日 酵母液に浸しました
~2日

3月3日~ 浸種しています

種もみは塩水で沈むくらい充実したもみだけを使います。これを温湯に浸けた後、酵母の液に浸すことで病原菌をつきにくくします(慣行栽培では消毒液に浸します)。その後、1ヶ月以上冷水に浸けて、眠っているもみの目を覚まさせます。

嫁日記

3月29日に、実家の弟が結婚式を挙げました。地元の神社まで花嫁行列で歩き、神社で式を挙げ、母屋に戻って披露宴を行うという、手作りの結婚式です。

実家では農業体験やWWOOF*の受け入れをしていたため、式の前からたくさんの仲間

が会場準備や料理の準備に奔走し、当日は想像以上の丁寧な手作りのお膳に石釜ピザ、餅つきやダンスなど、仲間達による心温まる披露宴が盛大に行われました。

弟の農家としての志や生き方を愛し、支えてくれる人たちの環。それは心優しい弟が作ってきた、弟の「村」なのだろう、と思いました。

絵と文/小野寺ひかる

*WWOOF...Willing Workers On Organic Farms「有機農家で働きたい人たち」の略。
有機農家で「労力」を提供する代わりに「食事・宿泊場所」を得る人々。